

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 49	利用者一人ひとりの希望をかなえる「あなたの夢を叶え隊」、利用者一人ひとりの意欲と残存能力を活かす「出来ることシート」の活動がまだ十分に機能していないと思われる。	「あなたの夢を叶え隊」「出来ることシート」の更なるブラッシュアップを図り、利用者のとびきりの笑顔を引き出し、それを家族と共有する。	個別レクリエーションに対応可能な職員のシフトを月2回程度組み、当面入浴がない日曜活用することとする。個別の希望が全体で取り組むレクリエーションとなっても構わない。利用者の出来ることは何なのか、職員全員で検討する場を設け、シートを更に更新していく。	6ヶ月
2	1 2 4 35	地域密着型サービスとして、「地域社会とのつながり」を理念として掲げているが、利用者、職員共にまだ地域と連携できることがあるはずと思われる。	認知症高齢者であるグループホームの利用者がこの黒髪の地で地域の人々の力を借りながら、その人らしい生活が営まれるように、職員は地域社会と利用者の橋渡しの役目を担う。	運営推進会議の際には、出席者のホームの楊末男見てもらおう。散歩、外出レク、個別レクを通して地域の住民とのふれあい、店舗など社会資源の活用を支援する。災害対策として、地域との協働の防災訓練を実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。